

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2015年4月号

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第563号

昨年夏からふたたびSP盤を集めるようになった。「ふたたび」というのは、

高校生のころ随分熱中したことがあったから。オークション・サイトで入札を繰り返して、何枚か入手することができている。

レコードに針を落とし、耳を傾ける。十二吋盤で最長四分三十秒のレコードだから一面に録音されているのは一曲のみ。何曲も続けて収録されているCDとは違い、おかげで一曲一曲を真剣に聴くようになった。物好きと笑われるのだが、百年ほど前の演奏家の創り出す音楽のなかには、驚くほど美しいものもある。少なくとも、今の演奏家にはほとんど感じられない「優美さ」はこの時代のヴィルトゥオーゾの特徴だと思ふ。

時代に逆行しているのだろう。でも、たんなる懐古趣味ではない。真面目に本物を探しているつもり。いまは失われたものがそこにはある、そんな風に思う。

さて脳死・臓器移植問題は、二〇〇九年の臓器移植法改定によってその是非について趨勢が定まり、いまや移植医療

の常識となった観がある。脳死者からの臓器提供は、もはやニューズで取り上げられることもない。脳死者からの臓器提供による移植医療は何件になつていのかご存じだろうか。この原稿を書いている時点で三二一例にのぼる。さらに免許証や健康保険証には当たり前のように臓器提供の意思表示を記す欄が設けら

## いま、ふたたび

財団評議員  
関西セミナーハウス活動センター運営委員



土井 健司

れ、日本人の全員がなんらかの仕方で意思表示をせねばならない状況にある。そんな状況下で、いま、なぜ脳死問題なのか。時代に逆行しているだけではないのか。しかし、それでもそこには、いま失われつつある真実があるのではと思う。

ところで生命倫理学者のホアン・マシア師が語っていた

ブレーキ型の生命倫理は、医療技術の進歩を止めようとするように見える。アクセル型は医療側には好評で、わが意を得たりと称賛してくれる。ハンドル型は、医療側からは少し嫌がられるが、しぶしぶでも理解し同意してくれる。ところがブレーキ型は、言うまでもなく医療側からは邪魔

をしようとする。ハンドル型は倫理の立場から多少の軌道修正をしようとする。そして

療技術についてのどの型の生命倫理が必要なのかを考えねばならない。いつもいつもアクセル型が正しい生命倫理ではない。時にはハンドル型、また時にはブレーキをかけ、逆行する必要もあるろう。

五月十六日に小松美彦氏を招いて講演と議論の時をもつ。小松氏は今も脳死・臓器移植には反対の学者である。

この小松氏の言葉に耳を傾け、議論するのは、いま失われつつあると感じる真実を求めるからである。「いまさら脳死問題!？」と思う方は、ぜひ参加して、小松氏に問いかけていただきたい。脳死・臓器移植に賛成の方こそ参加くださって、意見を述べていただきたいと願う。とはいえず小松氏も論客であつて、容易に説得されるとは思われない。しかしアカデミーの「話し合い」の伝統は、そういう対立する意見がぶつかり、そのぶつかりあいを通してなにかの真実を求めようとするものだと理解している。いま、ふたたび脳死問題を取り上げて、いのちについて考えてみたいと思う。

(関西学院大学神学部教授)

シリーズ名	回数	プログラム	予定
関東フォーラム 今日の課題 I	全5回	『自死』に遭遇した人への慰めとは 賀来周一 (キリスト教カウンセリングセ ンター相談所長)	第1回6月8日(月) 第2回7月13日(月) 第3回9月14日(月) 第4回10月5日(月) 第5回11月9日(月)
関東フォーラム 宗教対話 I	全4回	古典で読む20世紀 武田利邦 (農村伝道神学校講師)	第1回5月22日(金) 第2回7月24日(金) 第3回9月25日(金) 第4回11月27日(金)
関東フォーラム 宗教対話 II	全5回	プロット神父と『星の王子さま』を読む	第1回5月 第2回6月 第3回7月 第4回9月 第5回10月
関東フォーラム 宗教対話 III	全4回	これでのいのか日本の「キリスト教」 佐藤真史 (エマオ専従)・野田沢 (学生 キリスト教友愛会主事)・森小百合 (学 生YMC A主事)・向谷地宣明 (学生)	第1回9月15日(火) 第2回11月17日(火) 第3回1月19日(火) 第4回3月15日(火)
聖書を読む講座I	全10回	『イエスの警え話I』を著者と共に読む 山口里子 (日本フェミニスト神学・宣教 センター共同ディレクター)	第1回4月14日(火) 第2回5月12日(火) 第3回6月9日(火) 第4回7月14日(火) 第5回9月8日(火) 第6回10月13日(火) 第7回11月10日(火) 第8回12月8日(火) 第9回1月12日(火) 第10回2月9日(火)
聖書を読む講座II	全5回	キリスト教入門「まちがったっていいじゃ ないか!」の福音書 柳下明子 (日本聖書神学校教授)	第4回4月16日(木) 第5回5月21日(木)
神学生交流 プログラム		第7回神学生交流プログラム 校長 関田寛雄、講師 未定	2016年3月21-23日

### III 関西セミナーハウス活動センター事業計画

日本社会が直面している様々な困難な問題について、キリスト教精神に基づき話し合いを深め、問題の根源的解決の道を探る。

1. 修学院フォーラム「社会」において、第4回の「エネルギーを考える」会を開催し、フクシマを過去のものとして葬ろうとする流れに抗し、そこからの叫びと警鐘に聴き、核に依存しない世界を構築する道筋を考える。
2. 修学院フォーラム「福祉」において、高齢者の介護や、虐待された子供の支援に当たる人々の働きを通し、支援を受ける者と与える者が、同じ目線で出会い、喜びと悲しみを共有する道を探る。
3. 修学院フォーラム「いのち」において、臓器移植や生殖医療などの先端医療の問題を取り上げ、いのちを慈しむ医療の可能性を探る。
4. 開発教育セミナーにおいては、人権・平和・環境などの地球的課題を参加型学習で学び、持続可能な社会を考える。
5. これらに加え、京都のクリスチアンの跡を訪ねる会、もみじの美しい季節に関西セミナーハウスの景観を背景に、お茶、音楽、絵画を楽しむもみじまつりを催す。

シリーズ名	回数	プログラム	予定
修学院フォーラム 社会	第1回	核に依存しない世界に向けて 東北の被災地からの訴え (仮) 川上直哉 (東北ヘルプ事務局長) 核に依存しない社会の構築 (仮) 飯田哲也 (環境エネルギー政策研究所所長)	2016年1月10日(日) ~11日(月祝)
	第2回	日本の政治とキリスト教 (仮) 佐藤優 (作家)	1月30日(土)
修学院フォーラム 福祉	第1回	希望の介護ー認知症を考える 「中島塾」によろこ 中島健二 (京都府立医科大学名誉教授、 神経内科医師)	7月11日(土)
	第2回	子どもたちに寄り添う 坪井節子 (カリヨン子どもセンター理事)	11月14日(土)
修学院フォーラム いのち	第1回	なぜ、脳死・臓器移植は推進されるのか ~いのち・倫理・人間の尊厳をめぐる 小松美彦 (武蔵野大学教養教育部教授)	5月16日(土)
	第2回	赤ちゃんがほしい! 不妊治療の進歩は、 本当に女性に恩恵を与えているでしょ うか~産科医の立場から 川北かおり (西神戸医療センター産婦人 科医長 周産期センター長代行)	9月26日(土)
開発教育セミナー	第1回	開発教育入門セミナー (協力プログラム)	6月28日(日)
	第2回	今、世界でおこっていること~イスラ ムが問題なのか? 岡真理 (京都大学大学院人間・環境学研 究科教授)	7月18日(土)~19日 (日)
	第3回	子どもの貧困~私たちに何ができるか? 中塚久美子 (朝日新聞生活文化部記者)、 浜田進士 (児童自立援助ホーム「あらん の家」副理事長兼ホーム長)	9月12日(土)~13日 (日)
	第4回	歴史認識を鍛える~植民地、戦場の日本人 内海愛子 (大阪経済法科大学アジア太平 洋研究センター所長)	10月3日(土)~4日 (日)
	第5回	グローバル競争に左右されない暮らしを創 る~ゆとりと豊かさを実感できる社会へ 松平尚也 (NPO 法人 AM ネット代表理事・ 百姓)	11月7日(土)~8日 (日)
	第6回	ファシリテーターの聞き方、話し方、向 き合い方 木下理仁 (かながわ開発教育センター理 事・事務局長)	12月5日(土)~6日 (日)
研究会	第1回	お茶のこころと宗教のこころ 初夏の茶室 とバスで巡るフィールドツ アー~京都のクリスチアン史跡を訪ねて 杉野栄 (日本バプテスト連盟京都洛西教 会協力牧師)	6月6日(土)
もみじまつり		アジアキリスト教美術展 ~竹中正夫コレクション ジャズピアノの楽しみ (仮) 演奏 竹中 真 (ピアニスト)	11月23日(月祝)

### IV 関西セミナーハウス事業計画

2015年度の関西セミナーハウス事業計画は、以下の通りである。

1. 運営方針
  - 1) 公益目的事業の拡大  
関西セミナーハウス主催の文化的プログラムを  
継続するとともに関西セミナーハウス活動セン

# 公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー

## 2015年度事業計画

### I 事業計画基本方針

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミーは、2015年度において、以下の基本方針を掲げ、事業を推進する。

#### 1. 財団事業の展開

定款に定められた当財団の目的に添って、キリスト教精神に基づき、立場の相違を越えた対話を通し、自由、平等、正義、平和に基づく社会の実現に寄与する事業を一層活発に展開する。

#### 2. 事業の推進

##### 1) 公益目的事業

###### (1) 東・西活動センター

- ①現在のフォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続、発展させる。
- ②参加者同士の対話中心の宿泊プログラムを拡充する。
- ③アカデミー運動の目的に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組む。
- ④得られた成果を機関紙による広報を通し、広く社会に発信する。キリスト教系メディア、一般メディアに関心を持たせるプログラムを意識する。

###### (2) 関西セミナーハウス

- ①当財団の事業展開の拠点として、公益目的事業でのさらなる活用をはかる。また、当財団の目的達成に資する諸団体が行う公益目的事業を支援するため、宿泊研修施設を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の広い利用に供する。
- ②リピート利用者の丁寧なフォローおよび新規利用者の開拓などに取り組み、利用率の向上及び損益の改善を図る。
- ③効率的な運営をはかり、本部および東・西活動センターでの公益活動への貢献度を高める。

###### (3) 広報活動

フォーラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等の内容及び各年度事業計画・予算や、事業報告・決算を機関紙「はなしあい」において定期的に報告する。同時に、東・西活動センターおよび関西セミナーハウスの活動状況については、ホームページ等によって積極的な情報発信を継続する。

##### 2) 収益事業

公益目的利用外の一般利用者、企業等へ宿泊研修施設の関西セミナーハウスの貸出しを行い、その収益の一部を公益活動に資する。

#### 3. 運営推進体制の安定化

公益事業の運営推進に当たって、継続的な事業に関しては明確な方向性と予算計画を持ち、プログラム毎の収支の整合化を原則とする。新規プログラムについても、必要財源を確保し、活動の安定的展開を目指す。

#### 4. 財政の健全化

- 1) 理事会に承認された予算を守る。
- 2) 年度を通して、運用基金の取り崩しの最小化に努力する。
- 3) 運用基金の運用は、「運用基金運用規程」および「運用基金運用細則」に則り、安全で流動性のある財産運用を行う。

#### 5. 賛助会員、寄附金の拡充

公益事業、広報活動等を積極的に展開して、アカデミーの理念を周知し、アカデミー運動を支えようとする賛助会員、寄附金の拡充を図る。

### II 関東活動センター2015年度事業計画

2015年6月から2016年3月にかけて、関東活動センター事務所や集会室のある日本キリスト教会館の耐震補強工事・改修工事のため、関東活動センターの事業は大きな制約を受けざるを得ない。そのような状況であるが、早稲田奉仕園及び早稲田教会の協力を得て開催場所を確保する。プログラムは、「日本クリスチャン・アカデミーの理念」に基づき、次のように計画する。

1. 関東フォーラム「今日的課題」Iとして、昨年に引き続き「セミナー自死に遭遇した人への慰めとは」を実施する。従来タブーとされがちであった自死の問題を取り上げ、教会と社会における具体的な取り組みの可能性を探るプログラムである。
2. 関東フォーラム「宗教対話」I「古典で読む20世紀」は、昨年に引き続き、現在ではほとんど読まれなくなった先哲の様々な古典的著作を読み直し、21世紀の現在の時点でその意義を再確認することを目的としている。
3. 関東フォーラム「宗教対話」IIとして、新企画「プロット神父と共に『星の王子さま』を読む」プログラムを実施する。今では古典とされるサンテグジュペリの『星の王子さま』を、長年多角的に研究してきたプロット神父と共に読みながら、「心の居場所」を失った現代の教育の問題に鋭く切り込む。
4. 関東フォーラム「宗教対話」III「これでいいのか日本のキリスト教」は、キリスト教会の枠を越えて様々な分野で活動している若き活動家たちを招き、現代社会への問題提起を聞き、共に考える企画である。
5. 聖書を読むシリーズでは、入門的な聖書講座と、フェミニズムの立場からの聖書の読み直し、あるいは今日的視点からの聖書の読み方を探ることを目的としている。
6. 各神学校の枠を超えた神学生たちの交流を目的とした「神学生交流プログラム」については、2015年度は各神学校の賛助を得て、第7回プログラムを実施する。

- ターや他の教育機関・学会・研究会、諸団体と連携し、その文化、教育、社会貢献活動に参画する。
- 2) 収益事業の展開  
公益目的以外の一般利用者、企業等への宿泊及び研修施設の貸出を積極的に推進する。
- 3) 公益活動への貢献  
2014 年度に引き続き、公益財団法人の活動を支えるために一定額を設定し、財政的な貢献を担う。
- 4) 有形、無形財産の活用  
能鑑賞会をはじめ茶室、能舞台、日本庭園など本施設が持つ特色を生かしつつ、利用者に満足をもたらす運営に努力する。
- 5) 広報活動の強化  
ホームページ、メールマガジン、フェイスブック、DMなどを通じて、本施設を幅広く、継続的に広報する。
- 6) 利用者拡大の努力  
広報活動のほか、人的活動を展開し、長年、本施設が支えられているコア利用者（大学、企業、キリスト教諸団体等）への丁寧なフォロー、新たな利用者の獲得に努力する。
- 7) 柔軟な料金体系の設定  
適時、季節と繁忙を考慮した柔軟な料金体系を

- 設定する。
- 8) 健全な収支の確保  
利用者の拡大、諸費用の効率化などに取り組み、収支のバランスを整え、事業の継続性を確かなものとする。
- 9) 施設の更新  
収支の改善、資金収支の向上により、減価償却引当資産を充実させ、老朽化している施設の更新を行う。
2. 主な数値目標
- 1) 収入計画 (P&L ベース)  
売上高 1 億 1,980 万円  
営業利益 165 万円 (売上比 1.6%)
- 3) 設備投資  
年間総額 500 万円  
主な案件 北棟客室改装  
1 階トイレ改装
- 4) 宿泊者目標  
上半期 4,800 名 (前年比 102.9%)  
下半期 4,200 名 (前年比 102.7%)  
年間 9,000 名 (前年比 102.8%)
- 5) 年度期首要員 24 名

( 以 上 )

## 収支予算書 (損益計算方式)

(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日まで)

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	3,000	3,000	0	
特定資産運用益	105,350	590,000	△ 484,650	
受取会費	1,385,000	1,400,000	△ 15,000	
事業収益	126,932,520	123,615,570	3,316,950	
受取寄付金	3,530,000	5,200,000	△ 1,670,000	
雑収益	338,180	336,030	2,150	
経常収益計	132,294,050	131,144,600	1,149,450	
(2) 経常費用				
事業費	137,817,264	135,059,048	2,758,216	
管理費	3,173,612	5,213,659	△ 2,040,047	
経常費用計	140,990,876	140,272,707	718,169	
当期経常増減額	△ 8,696,826	△ 9,128,107	431,281	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 8,696,826	△ 9,128,107	431,281	

関西セミナーハウス活動センター

●2014年度 修学院フォーラム

「エネルギーを考える」 第3回

「原発、この避けて通れない課題と どう向かい合うか」

発題「原発の安全性、経済性、倫理性」

京都大学大学院経済学研究科長 植田 和弘さん

「あらゆる核から解放された世界の実現のために  
—世界の教会が大切にしている視点とは—」

立教大学副総長 西原 廉太さん

2015年1月11日(日)〜12日(月、祝)

2011年3月11日地震と津波がきっかけとなって爆発した福島原発は、4年近く経った今も放射能を出し続け、広範な土地が放射能で汚染されたままであり、12万人の人が住む所を追われたままである。それにも拘わらず電力会社と政府は原発の再稼働と輸出をなんとしてでも押し進めようとしている。こんな時何を為すべきかをしっかりと考えたいと願ってエネルギーを考える修学院フォーラムの第3回を開催した。しかし、もう今さら何を言っても無駄だという思いが蔓延

ていない。原発は、他の電源に比べ安価であると言われるが、発電単価に発電所建設費、燃料費、運転維持費だけでなく、地元対策費、事故リスク、被害費用、廃棄物・廃炉処理費用などを加えれば、どの電源よりも高くなる。しかも始末に負えない放射性廃棄物を後の世代まで残す点で倫理的にも問題を有する。電力会社が原発の再稼働を急ぐのは、電力が足りないためでなく、既存の原発を長期間使い続けることにより、発電コストを低く抑えるためである。

次に西原先生が、世界教会協議会(WCC)の総会と中央委員会に日本代表として出席し、「核から解放された世界へ」をWCCの声明として出すために努力された結果を報告された。WCCは長年正義と平和の実現ために努力してきて、南アフリカのapartheid(アパルトヘイト)廃止にも大きな貢献をした。最近では正義と平和に加えて、あらゆるいのちを尊厳をもって守り、慈しむことも重要課題として取り上げるようになった。その流れの中で、2013年11月に韓国、釜山で開催されたWCC

総会で、韓国、台湾、日本の代表は共同で「核から解放された世界へ」の声明を出すように提案した。しかし、核発電を核兵器と同列に扱うことに英国から強い反対があり、総会では採諾に至らなかった。この声明は、去る7月にジュネーブで開催されたWCC中央委員会で再び取り上げられ、今回は丁寧な議論の末、声明として採諾されるに至った。その声明は、核兵器と原子力(核)発電を不可分のものとし、広島・長崎の「被爆者」と福島の「被曝者」を「ヒバクシャ」という言葉で繋ぎ、これらヒバクシャの核非難の声に耳を傾けるべきだと訴えた。核エネルギーは、再生可能でも、持続可能でもなく、ウラン鉱採掘から原発稼働、廃炉、廃棄物処理の過程で大量の二酸化炭素を排出し、クリーンで環境に優しいというスローガンは欺瞞であり、核エネルギーのコストは、再生可能エネルギーのコストをはるかに上回る、と指摘した。そして我々は、正義と平和の巡礼として、核からの出エジプトの歩みを始めよう、神は

「さあ今、へいのち」を選べ」と呼びかけておられる、と結んだ。この声明は、去る8月WCCアジア地域議長 張氏により、首相官邸で菅義偉官房長官に届けられた。これらの発題を巡って、東京大学名誉教授の木原諄二さんと、元京都保育福祉専門学院院长岡山孝太郎さんからコメントがなされ、また福島から京都へ避難されてきている菅野千景さんから原発事故がもたらした苦難について報告がなされた。

2日目朝の静想の時間を挟み、参加者は、原発の問題点について真摯に考え合った。最後に西原先生が、大事なことは、フクシマのいのちの物語に共感し、それを繋いでいくことだと結ばれた。この会で語られたことは、録音から文章に起こして、書籍にして出版するか、あるいは電子ファイルで財団のホームページに掲載し、参加できなかった人も内容に触れることができるようにしたい。



**プログラム案内**

◆**関東活動センター**

■**聖書講座 2015「新しい聖書の学び」**

「イエスの譬え話」に響く声(全10回)

講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：② 5 月 12 日 ③ 6 月 9 日  
④ 7 月 14 日  
火曜 18:30 ~ 20:00

会場：早稲田教会ロビー  
参加費：1,200 円/学生 500 円(全10回割引 10,000 円)

テキスト：『イエスの譬え話 1』

共催：早稲田奉仕園

■**聖書講座 (入門編)**

「まちがったっていいじゃないか!の福音書

—マルコによる福音書を読んでみましょう—(全5回)

講師：柳下明子さん(日本キリスト教団武蔵野緑教会・日本聖書神学校教授)

日時：⑤ 5 月 21 日(木)

14:00 ~ 15:30  
会場：早稲田奉仕園セミナーハウス 100 号室

参加費：1,200 円/学生 500 円  
共催：早稲田奉仕園

■**関東フォーラム宗教対話 I**

「古典で読む 20 世紀 第 II 期」(全 4 回)  
第 1 回 『『同時代人サルトル』長谷川宏』

日時：5 月 22 日(金)  
18:30 ~ 20:30

講師：武田利邦さん(農村伝道神学校講師)

会場：早稲田教会ロビー  
参加費：500 円(4 回連続 1,500 円)

■**関東フォーラム「今日的課題」**

「『自死』に遭遇した人への慰めとは—牧会の現場から 第 2 期」(全 5 回)

講師：賀来周一さん(キリスト教カウンセリングセンター相談所長)

日時：① 6 月 8 日 ② 7 月 13 日  
③ 9 月 14 日 ④ 10 月 5 日  
⑤ 11 月 9 日、月曜  
14:00 ~ 16:00

会場：日本聖書神学校  
参加費：1 回 2,000 円

定員：10 名(先着順、要申込み)  
協賛：日本聖書神学校キリスト教研究所

◆**関西セミナーハウス 修学院きらら山荘**

■**能を楽しむタベ in 修学院きらら山荘**  
第 23 回 能『熊皮』

日時：6 月 19 日(金) 17:30 ~  
解説・出演：林宗一郎さん(観世流能楽師)

会場：関西セミナーハウス  
各定員：50 名  
観覧資料金：2,000 円/学生 1,000 円

■**林宗一郎を囲んでの懇親会**

日時：上記各回能楽鑑賞後  
会場：関西セミナーハウス 茶室 清心庵

会費：1,500 円

■**月釜 清心会**

日時：5 月 10 日(日)、6 月 21 日(日)  
9:00 ~ 15:00 受付  
(1、8 月を除く年 10 回)

於：関西セミナーハウス  
年会費：5,000 円、臨時会費 1,000 円

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2015 年度修学院フォーラム「いのち」**

第 1 回「なぜ、脳死・臓器移植は推進されるのか—いのち・倫理・人間の尊厳をめぐる—」

講師：小松 美彦さん(武蔵野大学教養教育部会教授)

日時：5 月 16 日(日)  
13:30 ~ 17:30

会場：関西セミナーハウス  
参加費：一般 2,300 円、学生 1,000 円

■**2015 年度「お茶のこころと宗教のこころ」**

第 1 回「初夏の茶室とバスで巡るフィールドツアー

~京都のキリシタン史跡を訪ねて~

講師：杉野 榮さん(日本パプテスト連盟京都洛西教会協力牧師)

日時：6 月 6 日(土) 10:00 ~ 17:00  
集合：関西セミナーハウス  
参加費：8,000 円 定員：20 名

**東 西 南 北**

◎**関西セミナーハウス**

小林 裕一、副館長(本部兼任)、  
4 月 1 日付で就任しました。

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 **日本クリスチャン・アカデミー**  
代表理事 小久保 正

本部事務局

〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
TEL 075-711-2147  
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18  
日本キリスト教会館 6 F  
TEL 03-3207-6198  
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター  
〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23  
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115  
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117  
E-mail:office@academy-kansai.org

**賛助会費・寄付金報告**

2015 年 2 月 1 日 ~ 2015 年 2 月 28 日  
(順不同・敬称略)

◆**財団本部**

寄付金

日本基督教団早稲田教会 25,000  
棟方 信彦 25,800

◆**関東活動センター**

賛助会費

早稲田奉仕園 300,000  
高柳 允子 1,000

上林 順一郎 10,000

寄付金(クリスマス寄付金を含む)

早稲田奉仕園 30,000

神学生交流プログラム募金

長岡京教会 10,000  
真鍋 裕子 2,000  
網野 俊賢 5,000  
島田 恒 10,000  
戒能 信生 100,000

中西 綾子 3,000

加山 久夫 5,000

上林 順一郎 10,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

椿 邦良 5,000

北野 裕子 5,000

寄付金

日本基督教団宇治教会 3,000

日本基督教団紫野教会 4,000

中西 綾子 3,000

山添 みどり 2,000

権 邦良 5,000

安食久美子 3,000

日本基督教団天満教会 10,000

金山 顕子 1,260

以上、感謝をもってご報告申し上げます。